

NST通信

お知らせ

◆委員会

3月24(木) 16時00分～ 講義室
◇内容：成果発表

◆研修会

3月24(木) 17時40分～ 大会議室
◇講義 酸・塩基平衡 HCU 檀上師長
◇症例検討 or ミニレクチャー：新2病棟・外来

NST 通信では各部署のNST 委員の方に記事担当をお願いしてトピックスなどを紹介しています。

今月は**新2病棟・HCU**の担当です。

褥瘡対策と栄養補助食品

褥瘡は耐久性が低下している組織に限局的な圧迫が加わって起こります。褥瘡予防は栄養の改善が必要になります。

亜鉛は必須微量元素のひとつでその欠乏症として味覚・臭覚障害が広く知られていますが、この他に褥瘡等の皮膚障害、成長発育障害などにも関与しています。

★褥瘡対策にはどんな栄養補助食品があるの？★

亜鉛補給：フルーツジュース・ブイレス（微量元素補給）

褥瘡対策：オルニュート（亜鉛、オルニチン、グルタミン）

ブイレスCP10（亜鉛、コラーゲンペプチド）



日本褥瘡学会編「褥瘡予防・管理ガイドライン」では、亜鉛だけでなくアルギニン、コラーゲン加水分解物なども、疾患を考慮したうえで補給してもよいとされています。

ミネラル編

リン

リンは体内のミネラルの中でカルシウムの次に多い栄養素です。体内のリンはその85%がカルシウムやマグネシウムとともに骨や歯を作る成分になっていて残りの15%は筋肉、脳、神経などの様々な組織に含まれ、エネルギーを作る時に必須の役割をしています。

【基準値】2.7～4.6mg/dl

★過剰になると…

血液中のリンが多すぎるとカルシウムはバランスをとろうとして骨に蓄えられる貯蓄カルシウムを血中に放出します。その結果、骨のカルシウムが減少し、骨のカルシウムの吸収を妨げてしまいます。また、腎機能の低下をもたらしこともあります。



NSTでは…

▲低リン血症に注意▲

慢性的な栄養障害がある状態で、急激に栄養補給をおこなうことによる代謝性合併症「リフィーディング症候群」に注意し、経腸栄養の提案などをおこなっています。



●下記基準が1つ以上

- BMI (kg/m²) が16未満
- 過去3～6か月で15%以上の意図しない体重減少
- 10日間以上の絶食
- 再摂取前の低カリウム血症、低リン血症、低マグネシウム血症

●または、下記基準が2つ以上

- BMI (kg/m²) が18.5未満
- 過去3～6か月で10%以上の意図しない体重減少
- 5日間以上の絶食
- アルコール依存の既往、または次の薬剤の使用歴がある: インスリン、化学療法、制酸薬、利尿薬

